

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
平塚・湘南西部地区災害対策キャラバンが開催されました。
神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成27年2月1日(日)国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院におきまして「災害対策委員会 平塚・湘南西部地区災害対策キャラバン」が開催されました。

今年度より災害対策研修会と並行して、神奈川県内における二次医療圏域に準じた形で、本会独自に地域ブロックごとの災害時における連絡・調整担当(エリアコーディネーター)を配置しました。

有事の際には、有効に機能する災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくために、前回の鎌倉・大船地区に引き続き平塚・湘南西部地区を対象とした災害対策キャラバンを開催しました。

講師には平塚市消防本部より松尾貞徳氏(消防救急課 消防司令)、平塚市役所より保健師の古田美穂氏(健康・こども部健康課)に加え、日本理学療法士協会 東日本大震災一次派遣隊として気仙沼で支援活動をした安藤岳彦氏(めぐみの里)を迎え、東日本大震災時に宮城県宮城野区蒲生地区で行った消防救急援助隊活動や平塚市における消防体制と災害時の受援体制について(松尾氏)、保健師の具体的な保健活動から災害時の活動(古田氏)とリハビリテーションとの連携について(安藤氏)お話をいただきました。

松尾氏からは「まずは自分の、そして家族の防災についても日ごろからしっかり話し合っておきましょう」と防災に関するポイントについてもお話をいただきました。古田氏からは、「災害が発生していない状況においても、日頃の地域での保健活動をとおして地域住民の生活を把握し地域の関係団体等との連携を図っておくことが必要である」、安藤氏からは「日ごろの繋がりや取り組みが災害時には強みとして発揮される」という事を強く訴えられていました。

今回は、参加者全員の自己紹介を行い、普段の業務内容などを確認する事が出来ました。まさにお互いの「顔を合わせる」場ともなったように思います。ケアマネージャや介護職、保健師といった他職種の方や静岡県や千葉県理学療法士会からの参加、また地域防災を担当する行政の方からの参加もあり、多くの方々にご参加頂きました。本当にありがとうございました。

エリアコーディネーターとして事前の打ち合わせから積極的な広報をしていただきました山口幸三郎先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました平塚共済病院の武生新吾先生と当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

次年度も災害対策研修会と各ブロックを対象にした災害対策キャラバンを予定しています。より多くの方々のご参加をお願い致します。

